参考様式第5－2号

地域計画

策定年月日	令和7年3月21日
更新年月日	（　　）
目標年度	令和16年度
市町村名 （市町村コード）	高知県宿毛市 392081
地域名 （地域内農業集落名）	旧和田/宿毛地区 （草木藪、小川、正和、押ノ川、二ノ宮、高石）

注:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

（1） 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	163.58 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	77.1 ha
② 田の面積	62.36 ha
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	12.51 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0.00 ha
（参考）区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	ha
（備考）	

注1:①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。
2:②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。
3:④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。
4:⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。
5:（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。
6:「区域内の農用地等面積」に遊休農地が含まれている場合には、備考欄にその面積を記載してください。

（2） 地域農業の現状及び課題

【地域の現状】
・主要作物:水稲、施設園芸（ミョウガ、ネギ、イチゴ等）、露地野菜(オクラ、ブロッコリー、サツマイモ等)、
・水稲が主体の地域であるが、地域内には施設野菜や露地野菜、果樹、畜産等多様な形態の農家がいる。また、新規就農者育成のための研修施設（（一社）スタートアグリカルチャーすくも）がある。
・中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金を活用し、農地の維持管理を行っている。
【地域の課題】
・高齢化が進み、特に水稲農家では後継者不足がみられる。また、一部で後継者がいない等により休耕地となっている農地があり、農地の集積などを担う農業者がいない状況にある。
・オクラ・ブロッコリー等の露地野菜は天候に左右されることや肥料代等の高騰により農業者が減ってきている。
・農業機械は自己保有が多く、機械の更新が厳しくなっているため、故障すれば営農の継続が難しく、離農につながる可能性が高くなってきている。
・地域では、防護柵をする等の対策が十分できておらず、鳥獣被害が多発している。

（3） 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・水稲については、主食用米だけでなく、飼料用米やWCSの栽培にも力を入れていく。また、露地野菜のオクラは価格も安定しており継続して栽培に取り組んでいく。
・将来的に農地を維持管理していくため、より効率的に作業を行えるようにほ場の再整備、区画整備（区画の拡大）を検討していく。
・地区では施設園芸（ミョウガ、イチゴ）も盛んであり、施設園芸の新規就農者の受け入れ等を進め、担い手を増やし地域の農地を守っていく。
・周辺地域との連携、機械の共同利用、集落営農による農地集積等に取り組み、地域の農地を維持管理していく仕組み作りを行う。
・農地の維持管理のために、多面的機能支払交付金の活用を継続していく。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

（1）農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針

農地バンクへの貸付けを進めつつ、担い手への農地の集積・集約化を基本としつつ、担い手の農作業に支障がない範囲で農業を担う者により農地利用を進める。

（2）担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標

現状の集積率	0.9 %	将来の目標とする集積率	0.9 %

（3）農用地の集団化（集約化）に関する目標

担い手が利用する団地数は、2個所（二ノ宮・高石）
団地数の減少を防ぐ。

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

（1）農用地の集積、集団化の取組

・基本的に中心経営体が農用地の集積、集約化を担い、中心経営体には利用条件の良好な農地を集積していく。
・認定農業者や認定新規就農者の受け入れを促進し、こうした担い手に農地を集積していく。

（2）農地中間管理機構の活用方法

・中心経営体の営農継続が困難になった場合には、農地バンクの機能を活用し、機構を通じて他の中心経営体への貸し付けを進めていく。
・今後、農地中間管理機構を活用し、担い手農家への農地の集積・集約化を段階的に図る。

（3）基盤整備事業への取組

・水路の老朽化等、条件不利な農地では、農地耕作条件改善事業等を活用し整備を行っていく。
・農業の生産効率の向上や農地集積・集約を図るため、将来的には、農地の大区画化・汎用化等の基盤整備に取り組む。

（4）多様な経営体の確保・育成の取組

・研修施設の卒業生の受け入れに取り組み、地域内の施設園芸農家の育成を行う。
・他地区（和田地区等）との連携、地区外からの担い手（集落営農組織）の受け入れを検討し、取り組む。

（5）農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組

・和田地区高齢者稲作支援生産組合を活用した農作業委託を推進する。また、他地区の集落営農組織（（農）ファームなかつの）を活用した農作業委託の推進にも取り組む。

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☑	①鳥獣被害防止対策	☐	②有機・減農薬・減肥料	☑	③スマート農業	☐	④畑地化・輸出等	☐	⑤果樹等
☐	⑥燃料・資源作物等	☑	⑦保全・管理等	☑	⑧農業用施設	☐	⑨耕畜連携等	☐	⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①集落で鳥獣被害対策、捕獲体制の構築等に取り組む。
③防除用ドローンや、自走型草刈機等を事業を活用して導入し、作業の効率化と負担軽減、作業安全性を向上させる。
⑦中山間地域等直接支払交付金、多面的機能支払交付金を活用した農地の維持管理を継続していく。
⑧老朽化した農道や水路等の農業用施設は、補助事業等を活用して整備し農作業の効率化を図っていく。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状			10年後（目標年度：令和　年度）				
		経営作目等	経営面積	作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
						ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計	15経営体		7.8477 ha	0 ha		6.8424 ha	0 ha		

別紙のとおり

注1：「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。
2：「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積を記載してください。
3：農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。
4：作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、経営面積に含めてください。
5：備考欄には、農業を担う者として位置付けられた者に不測の事態に備えて、代わりに利用する者を記載するよう努めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 （氏名・名称）	作業内容	対象品目

6 目標地図（別添のとおり）

7 基盤法第22条の3（地域計画に係る提案の特例）を活用する場合には、以下を記載してください。

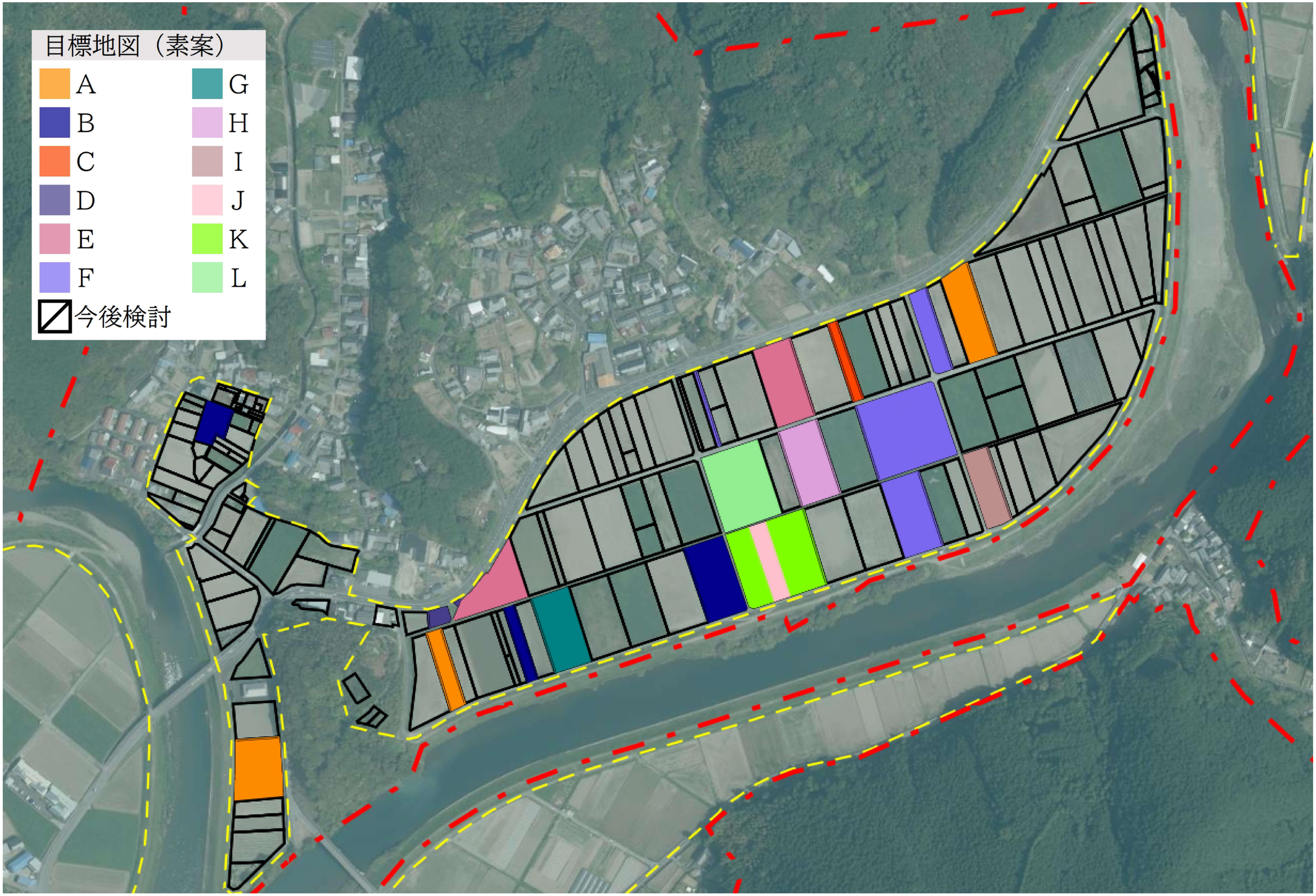
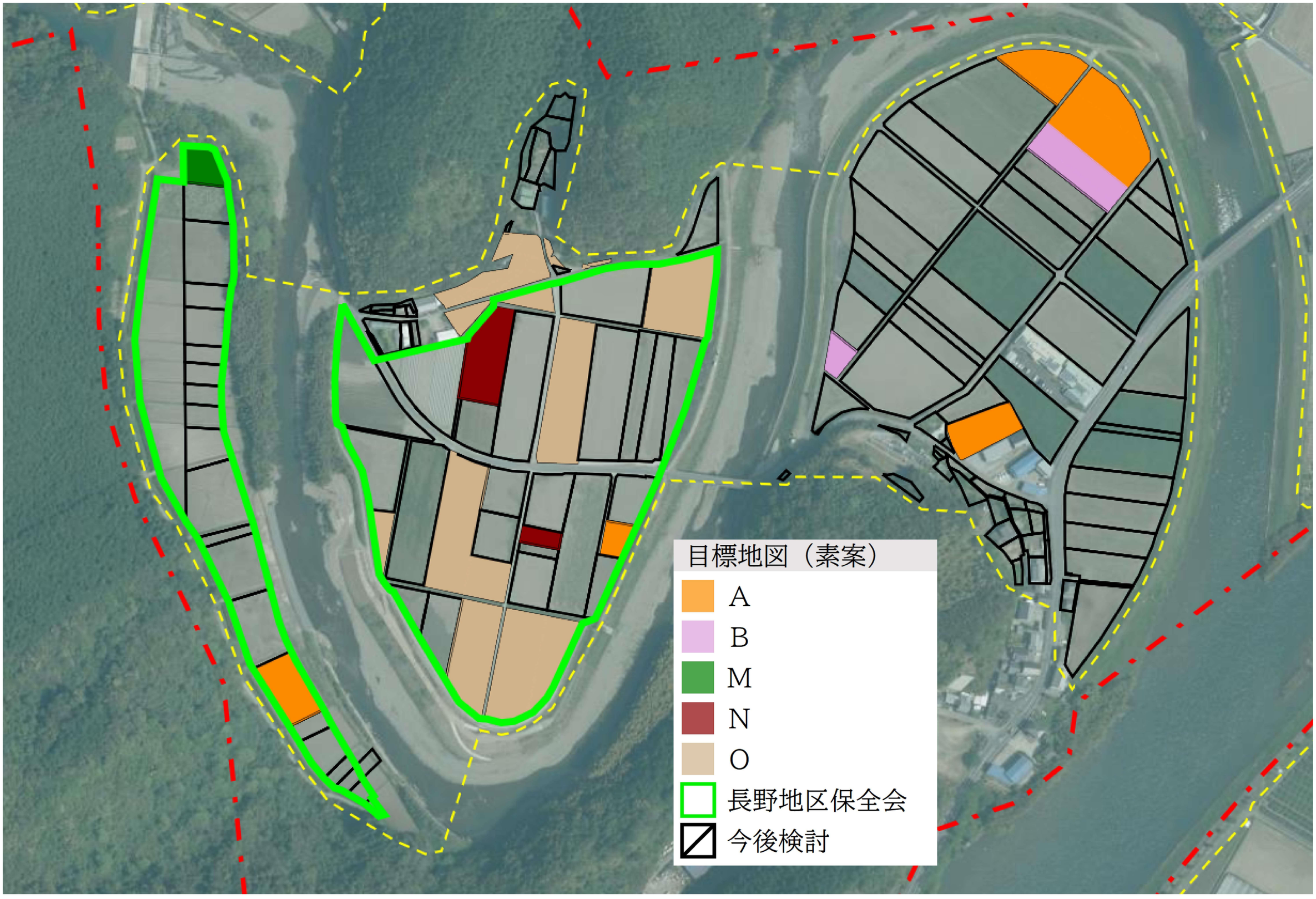
農用地所有者等数（人）		うち計画同意者数（人・%）	

注1：「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2：「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3：提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。

（留意事項）
農業を担う者を位置付ける際、これらの者の氏名が含まれた地域計画について、法令に基づく手続として、本人の同意なく、関係者の意見聴取や、地域計画の案の縦覧、地域計画の公告を行うことができますが、個人情報を保有するに当たっては、利用目的をできる限り特定し、本人から直接書面に記録された個人情報を取得するときは、あらかじめ、本人に対し、その利用目的を明示してください。
また、市町村の公報への掲載等とは別に、インターネットの利用により関係者以外の不特定多数に対して情報を提供する場合は、氏名を削除するなど配慮してください。
必要に応じて区域内の農用地の一覧を参考として添付してください。

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者）

	属性	農業を担う者（氏名・名称）	現状				10年後（目標年度：令和　　年度）				
			経営作目等	経営面積		作業受託面積	経営作目等	経営面積	作業受託面積	目標地図上の表示	備考
1	利用者		水稲・ブロッコリー	1.975	ha	ha	水稲・ブロッコリー	0.659 ha	ha	A	二ノ宮・高石
2	利用者		水稲	0.678	ha	ha	水稲	0.478 ha	ha	B	二ノ宮・高石
3	利用者		水稲	0.081	ha	ha	水稲	0.081 ha	ha	C	二ノ宮
4	利用者		水稲	0.027	ha	ha	水稲	0.027 ha	ha	D	二ノ宮
5	利用者		水稲	0.316	ha	ha	水稲	0.529 ha	ha	E	二ノ宮
6	利用者		水稲	0.778	ha	ha	水稲	1.076 ha	ha	F	二ノ宮
7	利用者		水稲	0.288	ha	ha	水稲	0.288 ha	ha	G	二ノ宮
8	認農		みょうが	0.298	ha	ha	みょうが	0.298 ha	ha	H	二ノ宮
9	利用者		水稲	0.202	ha	ha	水稲	0.202 ha	ha	I	二ノ宮
10	利用者		露地野菜	0.129	ha	ha	露地野菜	0.129 ha	ha	J	二ノ宮
11	認就		いちご	0.48	ha	ha	いちご	0.48 ha	ha	K	二ノ宮
12	認農		いちご	0.447	ha	ha	いちご	0.447 ha	ha	L	二ノ宮
13	利用者		水稲	0.080	ha	ha	水稲	0.080 ha	ha	M	高石
14	利用者		水稲	0.238	ha	ha	水稲	0.238 ha	ha	N	高石
15	利用者		水稲	1.83	ha	ha	水稲	1.83 ha	ha	O	高石


目標地図（素案）
A
B
C
D
E
F
G
H
I
J
K
L
今後検討

二ノ宮②